

1・20法大包围デモへ!

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

2016年1月19日

No.354

Tel 03-3651-4861

mail_cn001@zengakuren.jp

http://www.zengakuren.jp/

1/17都政を革新する会旗開きでの 鈴木たつお弁護士のアピール!!

先ほど松江寛人先生(ふくしま共同診療所名誉院長)から「杉並のビキニ水爆反対運動を知っている人はもう少ないかもしれない」とお話がありましたが、私は新宿高校で生徒会書記長をやっていて、この杉並の闘いと連帯して生徒会決議を上げて闘いました。何度もこの杉並の地を訪れました。私の人生形成にとって非常に大事な闘いがこの杉並にあるということです。

北島邦彦さん(元杉並区議)から朝鮮半島情勢を話していただいて、いま感動的な韓国・民主労総ゼネストのDVDを観ましたが、北朝鮮の核実験はとんでもない話です。なぜあんなことをやるのか? 南朝鮮であれだけの闘いを巻き起こしている人民の闘いを、信じられないんだ。南朝鮮人民が立ち上がった時、北朝鮮スターリン主義は必ず軍事的対応をしてくる。昨年夏の8万人で行われた米韓合同軍事演習(朝鮮侵略戦争を明白に意識した演習)や、何より日本の国会で強行採決された戦争法案です。最大の要因は、民主労総がパククネ政権を徹底的に追い詰めていることです。1月8日の臨時国会会期末でも、労働法改悪を提案できなかった。最近ではパククネは、臨時国会会期を延長して、国会の議決要件を変えてでも労働法制を改悪するガイドライン



を通そうとしている。1月23日に民主労総は「トドメをさす」大ゼネストを構えています。そういう南朝鮮人民の闘いが、北の危機(軍事冒險主義)をも引き出している。その意味で絶対に核実験を弾劾しなければならない。

民主労総の闘いに対し、「一体われわれは何なのか」「私は何なのか」ということを見なければならぬ。日本労働者階級は、この程度の闘いで満足できるはずがない。国会闘争に立ち上がった1000万人民と結合して、日本の体制をひっくり返す。そういう力をわれわれが持たなくてどうするんですか。本当にそういう情勢が来ているじゃないですか。民主労総は世界の労働者人民の先頭で新しい時代をつくろうとしている。「財閥の政治を終わらせよう」「世の中ををひっくり返そう」と。戦争の時代に労働者が進むべき道を示している。「民主労総との連帯」と言うならば、7月参院選に立候補しないで何かをやるなんてありえない。これが立候補を決意した一番目の理由です。

二番目は、日本共産党の対応です。冗談じゃない。9月19日の戦争法強行採決直後、志位は何と言ったのか。「『国民連合政府』をつくる」「安保条約は棚上げする」「日本の主権が侵害された場合には断固アメリカとともに安

変える力はある! 私たちが歴史を動かす!

3.11反原発福島行動'16

〈日時〉 3月11日(金)13時~ ※12時開場 ※15時デモ出発

〈場所〉 郡山市 開成山・野外音楽堂

〈呼びかけ〉 3・11反原発福島行動実行委員会

〈メール〉 3.11fukushimaaction@gmail.com





斎藤委員長(衆院選立候補予定)、鈴木さん、北島さんが揃い踏み！

保条約5条に基づいて自衛のための戦争をやる」と言ったんです。1000万人民が「話が違うじゃないか、志位！お前は何を言っているんだ！」と怒っている。何が「国民連合政府」ですか。これは戦争をやるってことですよ。私は法律家として一言言いたい。「主権」という概念ほど恐ろしいものはない。戦争は必ずこの言葉・概念で起こされる。日本国籍の船舶や飛行機には主権が及ぶとされている。例えば日本の航空機がどこかの国で攻撃されたら、それは「日本の主権侵害」になる。「主権侵害に対し安保条約5条に基づいて闘う」ということは、「戦争をやる」ってことなんです。何が「戦争反対」か。

私は絶対に戦争反対だ。戦争を起こさせてはならない。戦争とは「1%」の資本家とそれに買収された官僚どもと、そして労働者を1世紀にわたって裏切り続けてきたスターリン主義(中国や北朝鮮)が引き起こすものです。労働者人民には1%の利益にもならない。そんな戦争に動員され、殺し殺される関係に立つなんてまっぴらごめんだ。だからわれわれは、いかなる口実があろうとも戦争には絶対反対だ。敵が戦争のために使う口実が「自衛」です。近現代の戦争はすべて「自衛」の名で行われてきた。これは歴史の真理です。それを共産党がねじ曲げている。あの1000万人の決起をとんでもないところに流し込もうとしている。私は絶対に許さない。「改憲阻止」とは「戦争絶対反対」なんです。そのために私は立候補を決意しました。

7月に向かって安倍はとんでもないことを言い出し

した。「緊急事態条項」(国家緊急権)です。核心はズバリ憲法停止です。麻生太郎は「憲法改正問題はナチスの手口に学んでうまくやろう」と言った。「緊急事態条項」が「改憲の入口」なんてとんでもない。2012年の自民党改憲草案に新しい条項として出している。内閣総理大臣が緊急事態を宣言した時、内閣は法律に代わる政令を制定できる。国民はすべて従わなければならないし、地方公務員も国家公務員もこの政令の実行者にならなければならない。いま憲法で保障されている「集会の自由」「言論の自由」は全面禁止され、憲法停止状態に陥る。憲法学者からは「憲法の自爆装置」と言われています。ナチスがワイマール憲法を葬った手口とまったく同じです。

これを「災害対策」と言って、国会の大部分を巻き込んで通そうとしている。マスコミも「大規模災害に備えた特別措置」なんて言っている。嘘だ。「緊急事態条項」で憲法を死文にしてしまう。7月参院選でこれを焦点にして、自民党・公明党・おおさか維新の会で3分の2をとろうと言っている。私はこれに対し、日本人民が戦後に培ってきた「憲法守ろう」「戦争絶対反対」を体現して闘いたい。

最後に、とんでもない事態が日弁連会長選挙で起こっている。高山俊吉弁護士が全国を行脚しながら闘っています。対立候補は何と、あの稲田朋美(自民党政調会長)の応援団です。ファシスト右翼の稲田に数年前から献金している。選挙の事務局長も稲田後援会の一員です。さらに驚くべきは、この候補を共産党系の弁護士派閥が応援している。志位が「国民連合政府」とか「自衛戦争だったら断固やる」と言っていることとまったく同じです。高山さんの選挙公報は「改憲と戦争に絶対反対」です。相手の選挙公報は共産党と右翼の合作です。その広報に「国家緊急権創設の憲法改正には、不当な人権侵害につながらないように慎重に対応する」とある。反対じゃないんです。

1000万人が決起している時代だ。戦前とは違う。敵を倒す力をわれわれは持っている。しかし、共産党はその力を変なものにねじ曲げようとしている。それを許したらわれわれは再び負ける。そういう負けは絶対にダメだ。われわれは勝たなければならない。7月参院選に、文字通り人生をかけて決起します。よろしくお願いします。

【当面する行動方針】

●1・20法大包围デモ ～法大闘争10年！ 武田君処分撤回！～

1月20日(水) 12時半に市ヶ谷キャンパス集合→13時にデモ出発(13時半に終了予定)

【呼びかけ】法政大学文化連盟／全学連

●武田雄飛丸君「無期停学」処分撤回裁判控訴審・第2回

1月20日(水) 14時半～ 東京高裁822号法廷にて

